

2025 年度 キャリアパス多様化支援セミナーⅢ 研究力アピール強化ワークショップ（第 1 回） アンケート集計結果

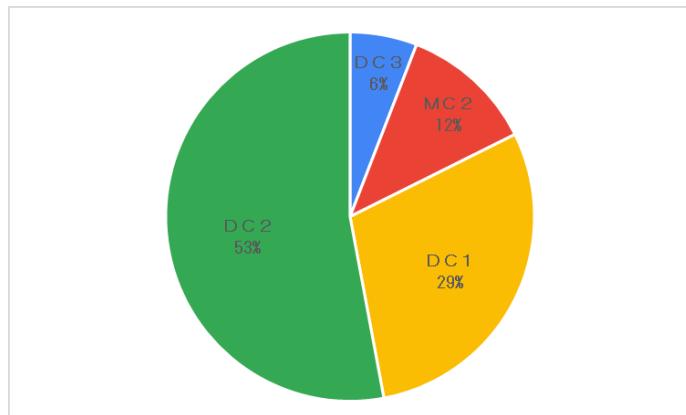
日 時：2025 年 12 月 1 日（月）14:00～16:00

場 所：オンライン（Zoom）

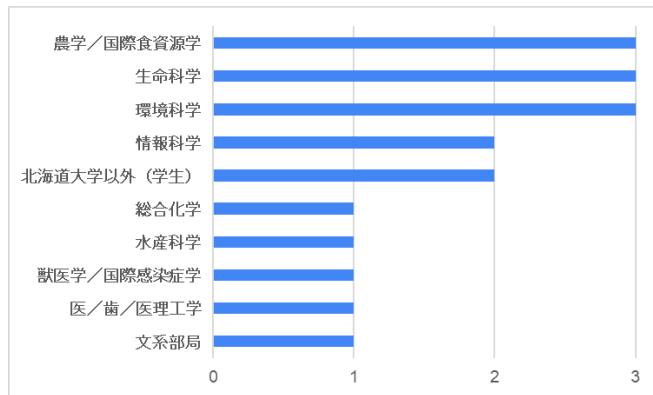
参加人数：19 名

回 答 数：18 名

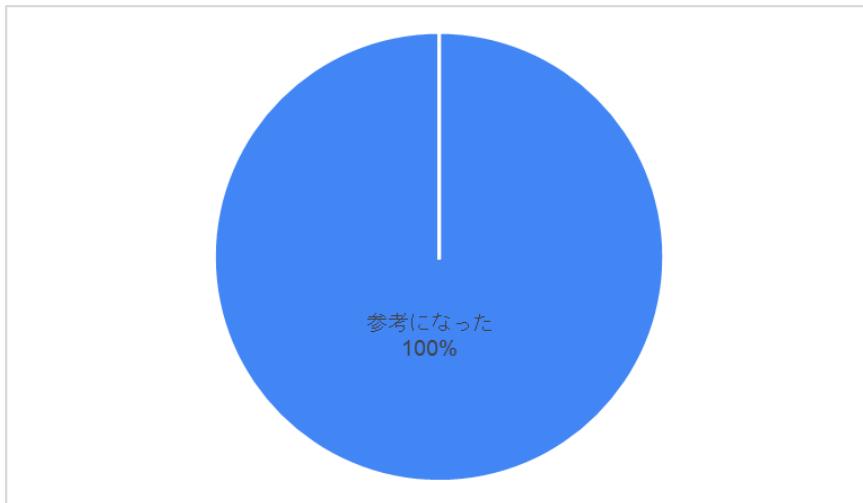
学年別



所属別



1. 本セミナーは参考になりましたか？

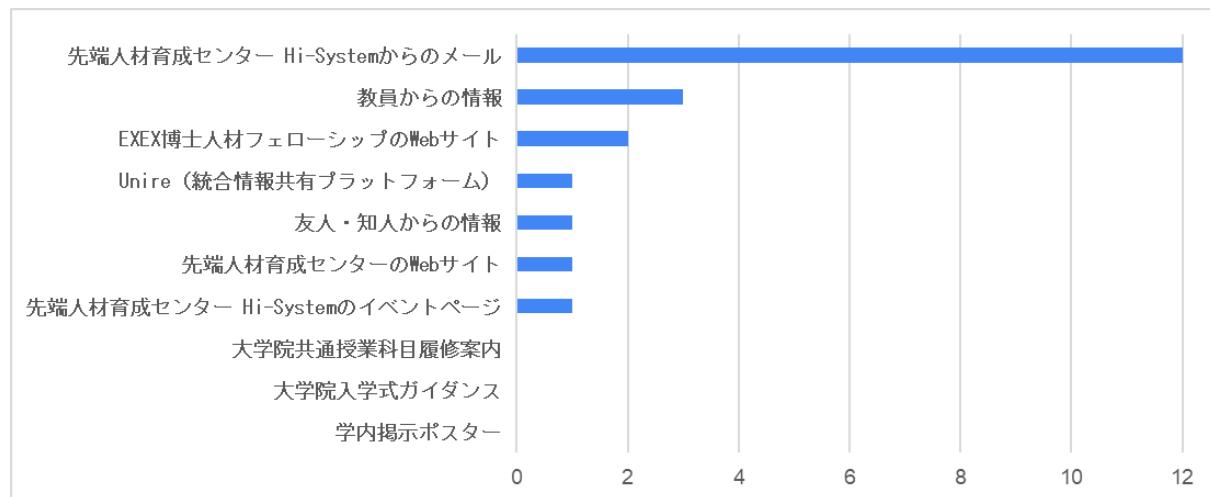


1-1. 上記 1 にて【参考になった方】どの点が参考になりましたか？（具体的に）

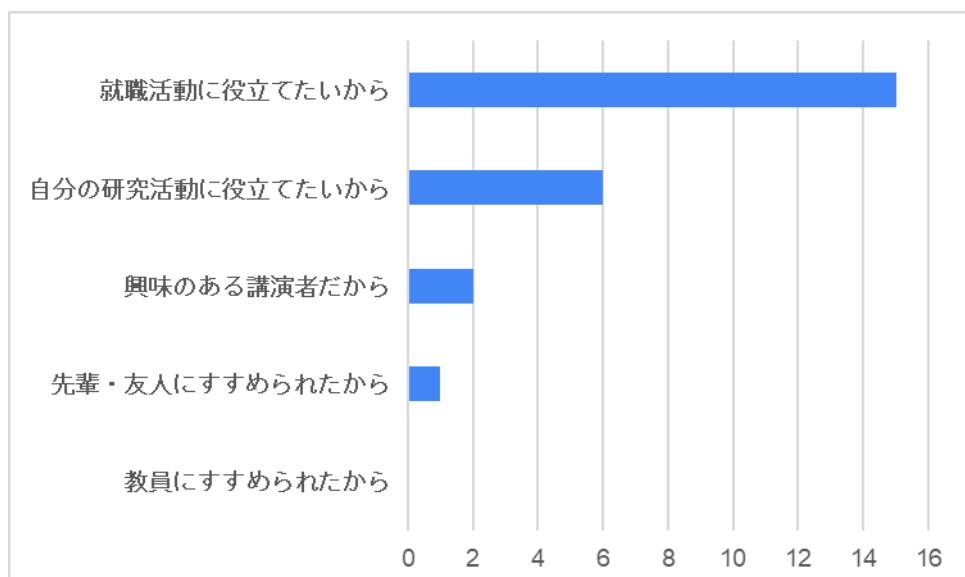
自分の研究という具体的な題材をどのように自分という抽象的なものをアピールするために使えばいいのかということを考えることが出来ました。
研究紹介を聴きての視点から見ることができました
専門性が高い研究内容を分解し、分かりやすく伝える仕方
スライド構成、内容から改めます
3 分間という短い時間で自分の研究力をアピールするために、どのような方針でスライドを作るべきかという点。
研究力のアピール点一社会貢献等
研究の内容を語ることに加えて、自身が持つ考えを明らかにすることが求められているとわかったので。

聞く対象が誰で、そこでは何が求められているのか。就職活動と学会とでは大きく違い、それに基づいて発表の仕方も変わってくるということ。
企業の方がどこを見ているのか、どんな説明をしたら自分の研究力が伝わるのかがわかりやすく解説されている点。
研究紹介の作り方はよくわかりました。
就職活動におけるプレゼンでは、どのような研究力を持って研究活動を行っているのかをアピールする場でもあるということがわかりました。
他の参加者の発表とそれに対する講評が聞け、自分が取り組む上でのポイントがわかった。
自分の研究をどのように異なる分野の人に伝えられるのが非常に勉強になりました。自分の研究「力」を上げるのが何か重要かがわかりました。
どのような情報を伝えるか、3分間での情報の盛り込み方について
他の人の発表と先生のアドバイスを聞いて、参考になった
面接の流れや、企業の人事が重視する点など、視点を変えて学ぶことができ、参考になりました。

2. 本セミナー開催について、どのように知りましたか？（複数回答可）



3. 本セミナーの参加理由（複数回答可）



4. 本日学んだ中で、今後の研究力アピールの場面で活かしたいポイントは何ですか？

自分の力をいかに研究から抽出するかという視点。
課題分析・推進力
根本的な作り方から改めます
自分が将来どのようなことをやっていきたいか、という点を第一にアピールすること。
話し方とアピールの重点
自身の考えを明らかにすること。
どのような場合であっても、誰がどのような目的でその発表を聞いているのか、必ず分析をしてから発表に臨もうと思いました。
何のためにやっているのかを紐解いて行くと自然と伝わりやすい説明になる、という最後のワークシートを今後も意識していきたい。
技術力（装置の使い方など）
スライドでは終了予定年月を記載すること、話し言葉の補足情報になるような視覚的に捉えられるスライドを作成することはすぐにでも修正と改善ができるポイントであると理解できました。
結論、自分が何に興味があるのか、その興味に対して高い専門性、研究経験があることを示すこと。
Zoom out という視点で、自分の研究から一歩ずつ社会貢献の大きいレベルまで広げるのが非常に良いポイントだと思います。
伝えたい情報の抽象化とスライドへの落とし込み方
問題解決力、専門力
自分の業務能力の評価について、新たな視点を得ることができ、大変参考になりました。

5. 本セミナーについてのご感想、または主催の先端人材育成センターS-cubicへのご意見・ご要望など（自由にご記入ください）

有意義な時間でした。対面のセミナーももっと参加したいです。
企業に求められている評価軸について考える時間があり、学生同士で意見交換することによって自分では創出できなかった価値観やその重要性を知ることができました。
もし可能でしたら、学生同士が互いの自己紹介や研究内容を共有できる機会があれば、参加者同士の交流が深まり、より多くの学びが得られるのではないかと存じます。